

柝の木からの手紙

2019年 12月号



慌ただしく動いていた季節が嘘の様な時の流れの速さ。一年が終わるのでは無く、来年への準備が始まっています。

11月11日、粒状米糠 78kg/反 散布

15日、醗酵鶏糞ペレット 120kg/反 散布
昨年からは、上記の有機質資材を雪が降る前に散布して畑にすき込みましたが今年は、自然農法畑の半分程は有機質資材を畑にすき込まないで表面に出たまま、大豆の殻を散布した方は16日に資材を畑にすき込んで、20日に畑全体に心土破砕をして来年に向けての畑作りを終了しました。

7日：大雪

12日：満月 旧 11月 16日

22日：冬至

26日：新月 旧 12月 1日

12月 師走						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

芋の出荷も今年は例年に無く11月末日には、5トンコンテナで残った正品の芋全部300箱近くをMOAの総合物流センターに出荷して終了しました。昨年までは、残った芋を個人宅で保管して出荷していたのです。カレンダー下の左写真は、倉庫保管時のネズミ被害。取手の穴から芋を齧っています。



右は、最後の出荷に向けてネズミ被害等を確認しながらの出荷準備中。

最後の出荷までの数日間は、芋の凍結を防ぐ為に夜も倉庫内でストーブを焚いて寒さに対応しました。



11月6日に脱穀した黒大豆を22日から選別し始めました。当農場の黒大豆は、MOA商事北海道販売に出荷した後、小袋に小分けされて道内で販売されます。また、黒大豆は正月前の需要が多い為、早めの選別出荷を心掛けています。畑仕事が終わって真冬が続く時期に、倉庫で隙間風をテントで防ぎながらストーブを着けて選別作業を行い、現在80kg出荷済み。今週明けには更に80kg出荷予定で、全体で300kg程になりそうです。

大豆と言えば日本の食生活の基礎にある食材。豆腐・納豆・醤油・味噌・きな粉・おから等。

先日、アートホールの谷川さんが幼稚園から依頼されて行った食育の様子「命を繋ぐお豆腐作り」がフェイスブックに投稿されていたので、添付して紹介します。